

# 国保値上げ条例 与党などの賛成多数で可決 「値上げ中止求める」請願は不採択

今年4月から国保税を一人当たり平均年5000円引き上げる条例案が12月18日、市議会最終日の本会議で、自民、公明、無所属議員などの賛成多数で可決されました。「国保税の値上げ中止を求める請願」は不採択になりました。日本共産党と無会派の有賀、奥野市議は値上げ案に反対、「請願」は採択を主張しました。「国保の会」は、2818名にのぼる署名に寄せられた「値上げ中止」を求める声に背を向けた値上げ案可決に強く抗議するとともに、連続値上げを許さない運動に引き続き市民のみなさんと共に全力をあげてゆく決意です。

**署名 2818 名 (最終)**

市民のみなさんのご協力に  
心から感謝いたします



‘値上げやめて’と各地で署名が広がりました

## 高負担に苦しむ市民の実態 値上げ賛成議員も否定できず

請願の趣旨説明で「会」の代表は、1か月余で2818名もの署名が寄せられたこと、「会」が実施した「国保アンケート」で「食費を削って国保税を支払っている」（母子家庭）など悲痛な声が相次いでいる実態を紹介。値上げ中止を強く求めました。「市民の生活実態を紹介していただいて感謝する」（各党、無所属議員）、「大変多くの方が国保に関心を持っている事がよくわかった（保険年金課長）などの意見がだされました。（12月13日、民生文教委員会）。

また国保税の値上げよりも、赤ちゃんにも国保税を課するという均等割の見直しこそ急務だと「会」の代表は主張。自民党議員からも「均等割は多子世帯に負担が大きい。見直しが必要だ」との意見が出されました。

安心の国保へ **ひき続き** 力あわせましょう

## 国保説明会に参加し、連続値上げ反対の声届けよう

国保制度改革に関する説明会（日野市主催）

- 2月2日（土）午前10時～11時  
七生福祉センター（七生公会堂1階）
- 同日 午後2時～3時  
市役所本庁舎101会議室

# 国民健康保険税に関するアンケート結果報告（概要）

2018年12月10日 国保をよくする日野市民の会

## 1、調査の概要

### ○調査の目的

国民健康保険制度の都道府県単位化にともなう国保税改定にあたって、市民の生活の実態と国民健康保険税の負担の実情を把握し、日野市に市民の生活実態に相応しい国保税を求める。

### ○調査対象、方法

- ・市内の都営住宅、市営住宅、UR都市再生機構の賃貸住宅、東京都住宅供給公社等の分譲住宅にお住まいの約2400世帯。
- ・無差別にアンケート用紙を配布し、返信用封筒で回答していただく。

### ○調査実施期間：

2018年10月～11月末

### ○調査内容

- ①国保税の負担感、②滞納の経験の有無、③差し押さえの経験、④返済について
- ⑤国保税の負担やくらしの状況について（自由記述）

## 2、調査結果の概要

○アンケート回答数 122通

### ○回答の結果と特徴

〔調査項目の①、⑤について紹介〕

#### ■国民健康保険税についてどう感じますか（一項目選択）

- ・負担が重いのでもっと軽くしてほしい 50人
- ・仕方がないと感じる 19人
- ・十分払える 1人

\*74歳以下、70人の回答

#### ■国保税の負担やくらしの状況について（自由記述 別紙に一部を紹介）

- ・回答を寄せた人の階層は、年金暮らしの高齢者が多く見られたが、母子家庭、非正規と思われる若い方々も少なくなかった。
- ・年金が減りつづけ、仕事があっても収入は少なく、国保税が家計に大きな負担となっている厳しい実情が共通して述べられていた。「国保税を払う時期は食費を削って払っている」（母子家庭）との胸痛む訴えもあった。若年層の人からは将来不安が述べられていた。
- ・負担増が続く国保税の構造上の問題点として、日野市だけの問題だけではなく、国や東京都の財政支援の在り方を問う意見もあった。

## <国保税の負担やくらしの状況について(自由記述から)>

●貯金を崩して支払っている。共働きだとしても、子育て(小学校・高校)費用などが大きく、結局、税金を優先して支払うため、子どもたちに我慢をさせることが増えている。外出、旅行は控え、こづかいは与えられず、学校だけが”社会”になってしまっている子どもたちが気の毒でならない。貧困対策で子ども医療費が無料になったはずなのに、何の策にもなりません。個人自衛では耐えられず、日々不安です。(48歳女性)

●年金生活をしています。年金は上がらないのに、基本的な国民健康保険税、介護保険料は年金から引かれますので、高くなっていくのを感じますし、年金の目減りを感じます。また、消費税も上がるなど、くらしの質の低下をしなければ生活できないですね。病気になれば、健康保険があるからなどという考えはありません。健康に注意しつつも、年金の質が下がrippなしはいかがなものでしょうか。高齢者が多くなる世の中ですから安心してくらすたらありがたいのですが。(73歳女性)

●年金が減額していくなかで、国保税の増額は負担が大きい。老人は生かさず、殺さずの政策だと思わずにはいられない。特に私は妻の介護をしているので、生活が大変です。(66歳男性)

●親の介護のため早期退職のため年金も少なく仕事のなくなる、またはできなくなる70代以降はすべてのことが不安です。同じ不安を持つ同世代の女性の友人は何人もいます。(61歳女性)

●平成30年7月~31年4月までの支払い通知書がとどいてびっくりしました。毎月35,000円の支払いです。いくら家賃の安い団地に入っても、35,000円を支払うのは大変です。体があちこち痛くても仕事をやめるわけにはいきません。支払わないと診察できないと思い支払いをしますが、毎月の支払いが大変です。(54歳女性)

●国保税はなんとか支払っていますが、子どもの成長に合わせて出費も増え、毎月ギリギリの状況です。値上げ幅についても負担が大きいと感じます。(34歳女性)

●定年間近、しかも安い給料で働いています。税金などは考えてほしいと思います。(65歳女性)

●以前国保を払っている時、金額が高く、免除申請をしていた頃がありました。さらに金額が高くなることはとても大変で生活が苦しくなると思います。(43歳女性)

●国保が税金扱いだということを知りませんでした

(働いていたので、お給料から健康保険料として差し引かれていたので)

。定収入がなくなってからの増税は厳しいです

ギリギリまで我慢して手遅れになったらそれはそれで仕方ないということになるのでしょうか。(63歳女性)

●この頃の生鮮食品の高さには本当に困っております。物価の安定が望ましいですね。(74歳女性)

●使い方をもっと工夫して、無駄がないかチェックが必要。滞納している人も、本当に払えないのか?払えない人と払わない人は違う。払わない人は他の物ことはちゃっかり知っているのではないか。(75歳女性)

- 高齢者が医療に頼りすぎる。医療費をあるがままに使い（権利のように）これからの人々を支える気持ちがなすすぎる。自らの首を絞めているようなものなので、苦しいが、税の負担をがんばって負っている。（71歳女性）
- 高齢者が増え、医療費の負担が「国」「地方」にかかるのは仕方がない。しかし、高額すぎては個人への負担が大きい。この日本の医療制度を崩壊させないために、以下の検討をしてもらいたいと思います。○健康長寿（予防対策）高齢者の社会参加→街中に出てもらって仕事をしてもらう○個人病院への受診奨励（誘導）○個人病院の医師の勉強と臨床への熱意の教育。総合病院よりきめ細かな対応ができ、医療費削減につながらないか。（60歳女性）
- 国民健康保険や介護保険、市都民税などを支払うためにWワークで支払いしています。（67歳女性）
- 少ない年金収入しかないなかで、市町村税、介護保険料、いろいろと出費が多く、できる限り支出を抑えようと食費を少なくして、体調も良くない医療費と毎月かかっています。（65歳男性）
- 年金支給額が年々減少しているにもかかわらず、健康保険税はなぜ安くしてもらえないのか、わかりません。（60歳女性）
- 介護保険料も高く、年金から天引きされるのがつらい。消費税を上げて対応してもらった方が良いと思う。国民健康保険や会社の保険（組合保険）は高いとは言え、ないと大変、入院した体験からありがたさがわかりました。（65歳女性）
- 介護保険料や国保料などは有無を言わず天引きですが、年金をもらっている人はこれ以上収入が増えることもなく、公共料金を払い毎日生活をしています。減らせることと言えば、食料代を減らすしかないのです。納豆、豆腐、もやし、そんなものしか食べられないのに、一日350gの野菜を食べるとかバランスの良い食生活とかよく言えるものだと思います。一人暮らしの老人はここ何年も口にしたものがない食品もたくさんあると思います。そこをなんとか考えてほしいと思っていますが・・・結果は見えていますか？（68歳女性）
- 母子家庭なので。国保税を払うのは大変です。収入も少ないので、国保税を払う季節になると食費を削って払っています。（48歳女性）
- 医療費はもっと安くできると思う。税金を取りやすいところからだけ取ろうとする無茶な話だ。（60歳女性）
- 生活の基となる税をどんどん上げられて困らないという人は少ないと思います。その代わりに、家賃を下げるとか、どうしても必要な経費を考慮してもらい、政治にしてもらいたいです。（73歳女性46歳男性）
- 年金は減らされるが、社会保険料は負担が大きくなる。この先、来年10月は消費税10%アップする予定。もう収入増は見込めないので、生活費を抑える以外には方法のない生活となってきた。ケセラセラ～！である。（67歳男性）
- 国保税の支払いが年々負担になってきています。仕方がないのか？とも思いますが、低所得者には厳しいです。値上げはぜひ止めてほしいです。（63歳女性）
- 一人での生活は厳しい。なるべくは、多少の具合が悪くても病院へは行かない。年金での

生活は国はわからないと思います。近年生きているのがつらくなる。仕事をしようと面接に行くが年齢のため採用は難しい？（74歳女性）

●市民税都民税とほぼ同じ時期に支払いが来るのがつらい。（49歳男性）

●保険料が高すぎる。（64歳男性）

●貧困は連鎖してるものだから、値上げなんてとんでもない。（40歳女性）

年齢も年齢（66才）なので、いつまでも仕事ができるか？その時の保険税など考えると不安です。（66歳男性）

●値上げが確定ならば大変なことになりますね。もっと保険の見直しを検討し、会社に働いているときは、会社の保険に入り、退職すると国保に変わる年を取って病気にもなりやすい。根本的に考え高齢者が増えるのはもうわかっていたことです。しかし、値上げでは困ります。（70歳女性）

●非正規の公務員で、月収20万だが国保+年金で15%の支出になる。さらに物価も上がってきており税負担は重く感じる。（53歳男性）

●生活の負担になっていることは事実です。これ以上上がってくると今後の生活が不安になります。（33歳男性）

●日野市というより国の問題だと思います。野党にがんばって欲しい。（66歳男性）

●今は年金より天引きされていますので、なんとか払っていますが、将来はどうなるのかと心配ではあります（年金が少なくなったりはしないかと心配です）。日野を広くアピールする物産や催しを起こして財政面で日野市を豊かにする方法をみんなで考えたらいかがですか？（68歳女性）

●国保の広域化によって、都の運営責任が大きくなると思うのだが、都の動きがよくわからない。都は大きな財政規模なので、助成金をもっと増やしていけば、値上げを避けられると思う。都立大学への名称戻しに〇〇億円？とか、無駄なことばかりやるのが石原都政以来の姿勢になっていると思う。（67歳女性）